

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[インストール](#)

[ステップ 1. NSO のダーウィン インストーラをダウンロードして下さい。](#)

[ステップ 2 Java のインストールを確認し、インストールして下さい/必要であればアップグレード。](#)

[ステップ 3 蟻のインストールを確認し、インストールして下さい/必要であればアップグレード。](#)

[ステップ 4. NCS/NSO ソフトウェアをインストールして下さい。](#)

[確認](#)

[NCS/NSO ステータスを確認して下さい](#)

[WebUI による NCS/NSO](#)

[NCS CLI への接続応答](#)

[API ドキュメントを参照して下さい](#)

[MAC のプロセス](#)

概要

この資料は MAC でネイティブで動作できる Cisco Network Services オーケストレータ (NSO) のインストールを記述したものです。これはインストーラにある複数の例によって NSO を理解したいと思う場合非常に有用です。たとえば、遊ぶために API ドキュメントを表示するためにユーザが抱える問題を、作り直すのにそれを使用でき、多くを区分します。さらに、ローカル インストールはシステム インストールがサポートされないのだけ使用されます。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco NSO ソフトウェアに基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

インストール

ステップ 1. NSO のダーウィン インストーラをダウンロードして下さい。

cisco.com Webサイトまたは devnet Webサイトのダーウィン インストーラを見つけることがで

きます。それを Cisco.com Webサイトからダウンロードするために、Cisco Connection Online (CCO) 資格情報を必要とします。

NSO 3.4.2 バージョンを MAC でインストールするために、nso_3.4.2.darwin.x86_64.installer.bin をダウンロードする必要があります

www.cisco.com で [Download ページ NSO](#)

[Devnet で Download ページ NSO](#)

呼び出します。Java のインストールを確認し、インストールして下さい/必要であればアップグレード。

ターミナルを開き、Java バージョンを確認して下さい。Java Development Kit 6 (JDK6) は以上に推奨されます。JDK がきちんとインストールされているとき、またはそれ以上に 1.6 の Java バージョンを見るはずです。

アップグレードするために、このリンクから Java のバージョン JDK をダウンロードできます。それはまた Java ランタイム環境 (JRE) をアップデートします。(この技術情報を書くこと現在の JDK の最新バージョンは jdk-8u51-macosx-x64.dmg です)。

<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/overview/index.html>

ステップ 3 蟻のインストールを確認し、インストールして下さい/必要であればアップグレード。

Apache 蟻はより新しい MAC OS によって組み込まれて来ないし、従って手動でインストールする必要があります。容易に蟻をインストールする非常によいプログラム マネージャである醸造物を使用できます。

蟻をインストールしてもらうかどうか確かめて下さい。バージョン 出力が表示される場合、蟻をインストールしてもらい、他に蟻をインストールし続けますこのステップをスキップできます。

醸造物をインストールしてもらうようにこれらのリンクの 1 つをクリックして下さい。既に醸造物がある場合、これをスキップして下さい。

<https://github.com/Homebrew/homebrew/blob/master/share/doc/homebrew/Installation.md#requirements>

<http://coolestguidesontheplanet.com/installing-homebrew-os-x-yosemite-10-10-package-manager-unix-apps/>

インストールされる醸造物があったらそれをです実行によって最新確認して下さい:

醸造物がインストールされ、アップデートされれば単に蟻をインストールするためにこれを入力できます。

蟻は今インストールされ、ターミナルで蟻コマンドによって利用可能であるはずです。これとそれを確認して下さい:

ステップ 4. NCS/NSO ソフトウェアをインストールして下さい。

これらのステップは NCS/NSO のインストールに関する文書から踏まれ、ここに適当ですも。ターミナルからこれらは executed できます。

ローカルディレクトリに NCS/NSO ソフトウェアをインストールして下さい。たとえば、ホームディレクトリ \$HOME でリリースのバージョンとして指名されるディレクトリに NCS/NSO を常にインストールすることを

インストール プログラムは `ncsrc` と名付けられるシェル スクリプト ファイルを作成します `.bashrc` のようなログインシーケンスにこのソース コマンドを、追加し

NCS/NSO がデータベースを保存する動作時ディレクトリを、示しますファイル、ログ先祖などを作成して下さい これらの手順で 運営

最後に NCS/NSO を開始し、動作時ディレクトリから NCS/NSO を実行するようにして下さい。

確認

NCS/NSO ステータスを確認して下さい

これによって NCS/NSO ステータスを確認できます:

WebUI による NCS/NSO

型「接続するべきブラウザの <http://127.0.0.1:8080/login.html>」。

NCS CLI への接続応答

API ドキュメントを参照して下さい

開始するように、API をインストールされる見るためにこれをブラウザでドキュメント 開発入力し、多くを区分します。

NCS が installed>/doc/index.html であるところ file:/// <location

MAC のプロセス

- `aef` アクティビティモニタの見てみるか、またはプロセスを見るためにコマンド `ps` を実行できます。

Process 説明

`ncs.smp` NCS/NSO が開始する時

`ncs_cli` CLI によって NCS/NSO に接続した時

`confd` netsim によって模倣した各デバイスのための `confd` プロセス